

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
周産期看護学援助論	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	土田 雅美 ※
授 業 概 要					
周産期（妊娠・分娩・産褥期・新生児期）の母子の経過や生理的変化・適応について理解する。又、対象とその家族の課題を知ること、周産期が正常で良好な経過を送るためにセルフケア能力を活かした援助の基本を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 妊娠期の心身の変化と母・胎児が共に健康な生活を送るための援助について理解する。 2. 分娩の機序を理解し、母と児が安全かつ安楽に分娩期を過ごせる援助について理解する。 3. 産褥期における全身・生殖器の復古過程と乳汁のメカニズムを理解し、産褥期の課題の獲得につながる援助を説明する。 4. 新生児の健康状態・発育状態（胎外生活への適応）を理解し、援助について説明する。 5. 妊娠・分娩・産褥・新生児期に起こりやすい異常の理解と看護について理解する。 6. 基本的な母性看護技術について理解する。					
実務経験のある教員					
土田 雅美:助産師としての経験をふまえ、周産期看護について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	1. 妊娠期の心身の変化と母・胎児が共に健康な生活を送るための援助 1) 妊娠各期に生じる身体、心理・社会的変化 2) 妊娠各期の胎児の成長・発達 3) 母・胎児が共に健康な生活を送るための援助 妊婦健康診査の意義と必要性				土田 雅美 ※
4-5	2. 分娩の機序を理解し、母と児が安全・安楽に分娩期を過ごすための援助 1) 分娩の機序 2) 分娩開始に伴う身体、心理的变化 3) 分娩開始に伴う胎児の健康状態の観察 4) 分娩時の安全・安楽への看護				外部講師
6-8	3. 産褥期における全身・生殖器の復古過程と乳汁のメカニズムの理解と援助 1) 産褥期における全身・生殖器の復古過程と援助 2) 進行性の過程（乳汁のメカニズム）と母乳育児への援助 3) 心理・社会的適応と援助				土田 雅美 ※
9-10	4. 新生児の健康状態・発育状態（胎外生活への適応）の理解と援助 1) 出生直後の特徴と援助 2) 新生児期（早期新生児期）の特徴と援助				
11-12	5. 妊娠・分娩・産褥・新生児期に起こりやすい異常とそれらに対する看護 1) 妊娠期に起こりやすい異常と看護（ハイリスク妊婦も含む） 2) 分娩期に起こりやすい異常と看護 3) 産褥期に起こりやすい異常と看護 4) 新生児期に起こりやすい異常と看護				
13-15	6. 基本的な母性看護技術について 1) 母性看護に必要な観察とアセスメント項目 2) 母性看護技術 （1）腹囲・子宮底の測定とレオポルド触診 （2）児のバイタル測定と体重測定、清拭及び沐浴				
学 習 方 法					
講義 演習					
評 価 方 法					
〔評価方法〕		科目修了試験			
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論 森 恵美 著 医学書院 病気が見える vol.10 産科 岡庭 豊 メディックメディア					